

## つながる大学と広報と国際化：米国オンライン高等教育を経て

2012年8月3日（金）18:00-20:00

「大学とは何か。勉強する所?」「広報とは何か。宣伝すること?」「国際化とは何か。英語で仕事すること?」—どれも、それが全てではありませんが、一般にイメージしやすい部分だと思います。では「大学における国際的な広報」とは、どんなものでしょうか。先の問いかけよりは、悩みそうです。まとまると絵が浮かびにくくなるのは、まだ「つながって動いている例が少ないこと」が一因なのかもしれません。

幸い私は、京大でも特に国際的とされる部局の広報として働きながら、アメリカでの広報の修士課程を経たので、これらのつながりを強く意識する機会に恵まれました。本会では、恐らくは希少なこの経験から得たことを、オンライン教育ならではの利点・欠点なども交えて、共有します。皆様との議論を通して、新たな価値や課題を見つけたいと考えています。（ゲストより）

### ゲスト 飯島 由多加 氏

京都大学 物質—細胞統合システム拠点 (iCeMS) 国際広報セクションリーダー

関西大でマス・コミュニケーションを専攻。外資系 ISO 認証機関などを経て、2007年より現職。2012年、米国ジョージ・ワシントン大で戦略広報修士（専門職=MPS）を取得。アメリカ広報学会（大学広報分科会）に所属。

### 会場 京都大学 物質—細胞統合システム拠点 (iCeMS) 本館 2F 展示室

- \* 京都市バス「京大正門前」下車すぐ。
- \* 「東山東一条」交差点 北西角。

### 定員 30名程度

- \* 17時以降は建物の鍵が閉まるので、外からは入れません。
- \* お申し込みの方には、前日までにこちらの電話番号をお伝えします。
- \* 到着が18時半より遅くなることが予想される方は、事前にご連絡下さい。

### 持ち物 (おなががすく時間なので)

夕ご飯をご持参ください。

### 主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

水町 衣里（京都大学）、加納 圭（滋賀大学）



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/L6xxC2>